

(毎月三日、六日、九日、十二日、十五日、十八日、二十一日、二十四日、二十七日、三十日、十回發行)

# 縣報

第七百七十六號

明治四十一年六月十五日

# 和歌山縣

## ○公文

○和歌山縣告示第四百十四號

左記ノ者小學校教員無試験檢定ニ依リ各頭書ノ教員免許狀ヲ授與セリ

明治四十一年六月十三日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

記

小學校本科正教員

岡山縣平民

坪井岸與

明治廿二年一月生

尋常小學校本科正教員

和歌山縣平民

宮本菊千代

明治廿四年三月生

同上

同

小野清子

明治廿三年十二月生

尋常小學校准教員

同

森中嘉兵衛

明治廿二年二月生

同上

同

土井ゑい

明治廿四年十月生

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

縣報第七百七十六號

明治四十一年六月十五日

第三種郵便物認可

一

同上

小學校專科裁正教員

同

三宅チカエ

明治廿四年一月生

同

奧シク千代

明治廿年七月生

同上

香川縣平民

長尾カツノ

明治十七年八月生

以上

○和歌山縣告示第四百十五號

神戸川崎造船所製造暹羅國政府注文ニ係ル水雷艇二隻來ル六月十四日午前七時ヨリ午後五時迄ノ間(當日暴風雨及大霧ノ際ハ順延)紀伊國沖合ニ於テ(日御岬航路ヲ避ク)試發施行ニ付航海者出漁者及當該地一般人民ハ各自警戒ヲ爲スヘシ

明治四十一年六月十四日

和歌山縣知事

伊澤多喜男

○和歌山縣告示第四百十六號

左記ノ者本縣豫防吏員ヲ命シタリ

明治四十一年六月十三日

和歌山縣知事

伊澤多喜男

記

大槻庄吉

長岡源之助

小林太市

○通牒照會

內三第三八二四號二

通牒

明治四十一年六月十五日

內務部

郡市役所

師範學校

中學校

實業學校

小學校

御中

小學校中學校等ノ教科目中ニ別冊片假名信號法ヲ加フルハ教育上裨益不尠候付自今体操科中ニ於テ便宜之ヲ教授スルコトニ致度旨其筋ヨリ通牒相成候條御了知相成度候

片假名信號法

片假名信號法ハ通信上手旗ヲ用ヒテ自己ノ意志ヲ他ニ傳フルコトヲ得ルノ方法ナリ即チ單ニ人ノ聲音ニテハ其極大ノ聲ヲ以テ靜穩ナル日ニ於テスルモ二百米突以上ニ在テハ通話困難ナルヘク「メガホン」ヲ用フルトスルモ四百米突ヲ超ユル能ハサルノミナラス大聲ヲ以テ通話ヲ繼續セントスルハ實際不可能ニ屬スヘシ然ルニ此法ヲ以テスレハ能ク八百米突ノ距離ニ於テ肉眼ヲ以テ優ニ通信ヲナスコトヲ得ヘシ故ニ國民一般ニ之ヲ了知シ居ルトキハ必要ニ應シテ自己ノ意志ヲ比較的遠距離ニ在テ自由ニ通達スルコトヲ得ヘキヲ以テ其利益尠カラサルヘシ例之山頂ト山頂ト或ハ河

岸ヲ隔テ或ハ海上等ニ於テ自己ノ危急ヲ報シ或ハ他人ノ危急ヲ警ムル等ノ場合ニ於テ音響其他種種ノ方法ヲ以テ其意志ヲ通スル能ハサルコト往往コレナキニアラスカガル場合ニ於テ此方法ヲ解シ居ランカ直チニコレチ利用シテ容易ニ其危難ヲ救フコトヲ得ルカ如キ之ナリ依リテ幼年ノ際ヨリ此法ヲ教授シ十分習熟セシムレハ必要ニ應ジテ自由ニ之レチ利用スルニ至ルヘク而モ片假名ヲ解スルモノハ即チ此信號法ヲ解シ得ヘキカ故ニ少シク作文ノ素養アル者ハ發信自在ナルヲ得ヘシヤレハ尋常小學校第四年ノ學力程度以上ノ者ニ之レチ教フルヲ最モ適當トス又此法ハ其手腕チ上下左右ニ動カシ種々ノ動作ヲナスモノナルニヨリ自然身體上部ノ運動トナルナリ又最モ嚴格ニ姿勢ヲ正スチ必要トスルモノナルヲ以テ之レチ行フトキハ自然各個ノ姿勢ヲ嚴整ニ保持スルノ修養ヲナサシムルヲ得ヘシ然モ作字ヲナシツ、動作スルモノナルヲ以テ種々ノ趣味之ニ伴フヘケレハ倦怠ノ念ヲ生セスシテ愉快ニ之レチ實行スルニ至ルヘキナリ而シテ此法ハ陸軍及海軍ニ於テ行ハルルモノナルカ故ニ猥ニ其形式及方法等ヲ變更スヘカラス又中學校等ニ在リテハ棍棒ヲ以テ手旗ノ補用トナスモ妨ケナキモノトス

今之ヲ體操ニ應用スルニハ凡ノ左ノ様式ヲ基礎トスルヲ適當トス

片假名信號法ニ示ストコロノ十原劃及片假名綴字ヲ基本演習及合併演習通信演習ノ三章ニ分チ基本演習ハ第一原劃ヲ第一教トシ順次原劃ニ教名ヲ附シ第一〇原劃第十教ニ了ル毎教一原劃ヲ五回ツ、畫カシメ一原劃ハ二舉動ニテナスモノトス合併演習ニ在テハ五十音ノ「ア」行ヲ第一教トシ順次各行ニ教名ヲ附シ「ワ」行第十教ニ了ル但シ「ン」字ハ「ワ」行ニ入ル毎教其行ノ五字ヲ連續畫カシメ別ニ舉動ヲ付セス通信演習ニ在テハ之レチ二教ニ分チ通信ニ要スル諸動作ヲ第一教トシ各自通信演習ヲ第二教トシ綴字ハ一秒時一字ノ速度ニ達セシムルモノトス又此體操ヲナスニハ不動ノ姿

勢ヲ執リタル後始ムヘキモノトス

片假名信號法ノ原割左ノ如シ

名稱

形

姿

名稱

形

姿

原  
姿



第一原割



兩手ヲ左右  
水平ニ伸ハス



第二原割



左手ヲ端

レ右手ヲ

垂直ニ揚

ク



第三原割



兩手ヲ左方

四十五度ノ

仰角ヨリ右

方へ四十五

ノ俯角度ニ

振リ下ス



第四原割



兩手ヲ右方  
四十五度ノ  
仰角ヨリ左  
方へ四十五  
度ノ俯角ニ  
振り下ス



第六原割



左手ヲ垂レ右  
手ヲ右方四十  
五度ノ俯角ニ  
出ス



第八原割



左手ヲ垂レ右  
手ヲ右方水平  
ニ出ス



第五原割



兩手ヲ頭  
上ニ交叉  
ス



第七原割



右手ヲ垂  
直ニ揚ケ  
左手ヲ左  
方水平ニ  
出ス



第九原割



第十原則

(八)



濁點

(ハ)

清音形象  
ヲ振リ終  
ルヤ直チ  
ニ左手ヲ  
四十五度  
ノ仰角ニ  
揚ケ一二  
回之ヲ振  
ル



半濁點

(Q)

清音形象ヲ  
振リ終ルヤ  
直チニ右手  
ヲ四十五度  
ノ仰角ニ揚  
ケ一二回之  
ヲ振ル



起信

起信者ノ兩手ヲ同時並行ニ上下ニ振ルコト數回ス

應信

應信者ノ兩手ヲ交々上下ニ振ルコト數回ス

消 信	<p>両手ヲ左右ニ斜前四十五度ノ仰角ニ出シ之ヲ前方ニ交叉スルコト數回ス</p>	終 信	<p>起信者兩手ヲ垂直ニ揚ク</p>
受 信 (了解)	<p>受信者兩手ヲ垂直ニ揚ケ並行セル儘左右ニ振ルコト數回ス</p>	句 讀	<p>起信者右手ヲ右方四十五度ノ仰角ニ揚ケ約十秒間其位置ニ保ツ</p>
新 章	<p>起信者第七原劃ヲ作り約十秒間其位置ニ保ツ</p>	句讀或ハ 新章ノ消 信	<p>句讀形象又ハ新章形象ヲ示シ其位置ヨリ右手ヲ左右ニ振ルコト數回ス</p>

信號旗ニ代フルニ棍棒ヲ以テスル體操法

符號

姿勢

原畫

符號

姿勢

原畫

一



一

二



一



九



七



五



三



八



六



四



片假名四十六字ヲ作爲スルコト左ノ如シ

ヨ	ワ	ル	リ	ト	ホ	ハ	イ
ㄟ	丨	丨	丨	丨	一	ハ	ノ
一					丨		
一	フ	ㄥ	丨	、	ハ		丨
タ	カ	ナ(オ)	ヌ	ナ	ヘ	ニ	フ
ノ	ㄟ	一	フ	ㄥ	ノ	一	ㄟ
ノ							
、	ノ	フ	ノ	丨		一	ㄥ

テ	コ	ケ	ヤ	ノ	ユ	ナ	ツ	レ
一	ㄥ	ㄥ	ㄥ	ノ	ㄥ	一	、	ㄥ
一	一						、	
ノ	一	ノ	、		、	ノ	ノ	
ア	エ	フ	マ	ク	ウ	ラ	子(子)	ソ
フ	一	フ	フ	ノ	、	、	フ	、
	ノ				一		一	
ノ	一		、	ノ	フ	フ	一	ノ

シ	セ	ヒ	ミ	ユ	サ
、	フ	一	一	フ	一
一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一
寸(ス)	モ	シ	メ	キ	
一	一	一	一	一	一
(長音)	一	一	一	一	一
、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、

○町長ノ異動

有田郡箕島町有給町長 國中太郎

右六月十二日認可ス

○観測

明治四十一年六月十日ヨリ三日間當地氣象概況(前年對照)

種目	六月十日		六月十一日		六月十二日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六六耗四	七五五耗二	七六二耗三	七五五耗〇	七五六耗四	七五七耗〇
平均氣温	二〇度九	一九度九	二一度七	二二度三	二〇度八	二一度〇
最高氣温	二五度七	二四度三	二三度二	二七度八	二三度一	二七度〇
最低氣温	一五度二	一五度一	一九度五	一七度八	一九度一	一七度三
最多風向	東北東	西南西	南	南西	南々西	西
平均風力	五米一	二米三	四米六	三米〇	四米〇	二米〇
天氣	晴	曇	曇又雨	晴	雨又曇	曇后雨
降水量	!	!	四耗八	!	一五耗二	一三耗二
記事現象	午前九時海上 風雨ノ警報到 着 夕刻強風吹ク	!	終日時々降雨	夜間月暈ヲ映 ズ	早朝及午后降 雨ス	晚間月暈ヲ映 シ午后降雨ス

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治四十一年六月十四日印刷

(壹頁代價)

和歌山縣

印刷人 和歌山市久保町一丁目 友大 印刷部